

## 田んぼの学校活動報告～狩込みどじょっこ会～

活動月日	令和5年11月12日
活動内容	田んぼの学校～収穫祭～
報告者	那須野ヶ原土地改良区連合



令和5年11月12日（日）栃木県那須塩原市四区町において、田んぼの学校の収穫祭が行われました。

種まきから始まり、草取り、稲刈りと一年を通して米作りを体験できる田んぼの学校の中でも参加者が一番楽しみにしているイベントが収穫祭です。

はじめに畑に行き、サツマイモの収穫をしました。大きく成長したサツマイモを掘り出すのは、子どもたちにとっては大仕事です。サツマイモを傷付けないように手で土を掘りながら収穫しました。掘り出したサツマイモの中には、子どもたちの顔よりも大きく成長したサツマイモもあり運ぶのも一苦労。それでも子どもたちは、協力し合って掘り出したサツマイモをカゴまで運んでいました。

サツマイモ掘りの後は、餅つきです。昔ながらの臼と杵を使って行いました。餅つきは、もち米が熱いうちにしっかり捏ねないと粒が残ってしまうため、最初の捏ねが大切です。最初に農家の方が捏ね、ほどよく搗いてから子どもたちに搗いてもらいました。子どもたちには小さな杵を使って餅つきをしてもらいましたが、ひとりで杵を持って餅つきをするのが楽しかったのか、何回も列に並んでいる子もいました。

餅つきの後は、待ちに待ったこじはんです。農家の方が朝から準備を進めてくれていた、鮎の塩焼きや焼き芋などが振る舞われました。鮎は、農家の方が釣って保存していたものです。サツマイモは、同じ畑で栽培したものを事前に掘って準備したそうです。美味しいものを食べて、参加した家族はとても満足そうでした。

最後に、田んぼの学校で収穫したお米やサツマイモ、搗きたての餅などをお土産に解散しました。